

三陸の海を放射能から守る

岩手の会 第50号

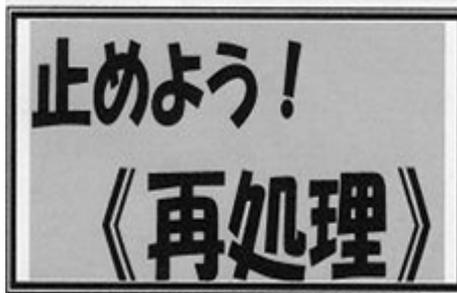
郵便振替 02240-5-102650

《岩手の環境/R I 廃棄物/再処理》

http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm

《まった再処理分庫》

http://briefcase.yahoo.co.jp/k_imag



天恵の海を守ろう!

2008 (平成20)年

2月 26日

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX 019-623-1636

ガラス固化不完全のまま第4ステップ終了とは? 小委員会、条件付きで第5ステップ入り認める

市民団体釈明を要求

日本原燃は二月四日、第四ステップで行った「ガラス固化設備の試験状況報告書」を経産省原子力安全・保安院に提出しました。一月一四日に開催された核燃料サイクル安全小委員会は「運転状況の維持は具体策がなく十分でない」と指摘し、再試験の二条件を付して第五ステップ移行を認めました。全国市民団有志約百人が傍聴に詰めかけ、第四ステップ終了を認めないよう要請行動を行いました。ガラス固化技術について見通しの立たないままでは、試験運転そのものが行き詰まることとなります



経産省保安院要請集会 2月7日 (衆議院第二議員会館)
写真は「美浜の会」ホームページから

溜まる「高レベル廃液」、見通し暗い「ガラス固化」

六ヶ所再処理工場では既に、使用済み核燃料一〇一〇体、ウラン換算で三二〇tが処理され、「高レベル廃液」が推定一六〇立方メートルあまり作られたと思われまます。この「高レベル廃液」は、密閉されていた「死の灰(核分裂生成物)」が液化化されたもので極めて危険な存在です。人がそばにいないだけで致死するという強い放射能を有し、発熱のため絶えず冷却し攪拌しなければ沸騰します。ガラス固化の技術の見通し

が立たないうちに、多量の廃液を作ることはそれだけ危険を増大させることとなります。もちろん厳重にタンクに保存され管理されているとは思われませんが何らかのトラブルによる電源喪失による事故や地震による漏出事故が心配されます。

委員会もそのまま認められない内容の「報告書」

日本原燃は、一月四日以来、「高レベル放射性廃液ガラス固化体」の製造を開始しました。この日から一月一八日までのガラス固化作業についての報告書が二月四日保安院に提出され、原燃ホームページに掲載されました。自らのガラス固化技術の致命的欠陥が吐露される内容であり、委員からは「これでは落第だ、このままでは最終処分が出来るのか」などの厳しい声相次ぎました。

日本原燃は二〇〇七年の夏に保安院に提出した「第四ステップ計画書」において「A・Bの二系列あるガラス固化工程で運転性能と能力確認の試験を行う。その場合、『連続して五日以上の安定運転』と、『一時間当たり、

「アクティブ試験を憂慮する全国市民の会」(一四〇団体)

要請行動

◇一月一五日

保安院交渉

約三〇人が結集。保安院担当者「第四ステップの変更はなし」と確認。

*この際に岩手の会代表は「追加分署名」一万三三〇筆提出。合計一〇万五五七一筆となる。

◇二月七日

保安院緊急要請集会

衆議院第二議員会館にて市民集会を開催。ガラス固化体製造技術に本質的欠陥があり克服されていない。「報告書」は審査に値しない。第四ステップ終了は認めないでほしい、など。

◇二月八日

ワーキンググループ会議

傍聴を要請するが非公開。

◇二月九日

「安全小委員会」へ要請書発送行動

◇二月一四日

核燃サイクル安全小委員会傍聴・要請行動

経産省で開催された。全国各地から約一〇〇人が結集し、傍聴・要請行動を展開した。

七〇の廃液のガラス固
化』を判定基準にする」
としておりました。

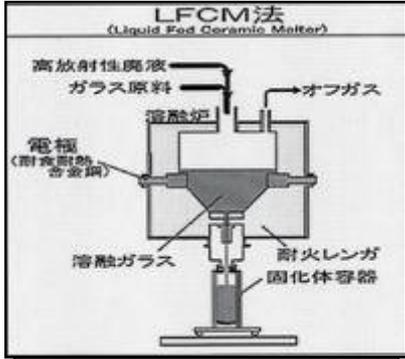
しかし日本原燃はスケ
ジュールを優先し一二月
一四日、この事前の計画
を自ら変更し、「A系列の
みの試験報告」とし、第
五ステップ分の使用済み
燃料六〇トを事前にせん
断することを保安院に届
け出しました。

「添付資料」が
不備な報告書

「報告書」には試運転
実施の日録や、その時の
データなどが記されてい
ますが、マスキング(空
欄)も多くあり極めて不
備なものです。
次のような問題点が指
摘されます。

▼A系列のみの報告

二系列の試験を行うと
されているのにA系列の
みの報告が記されていま



LFCM法

【六ヶ所再処理工場採用】

電極と電極の間で、電気抵抗を利用し、ガラスを溶融する方法。この技術はドイツの方式をベースに日本独自に開発。東海再処理工場以来白金族元素滞積に悩まされている。

▼白金族元素が堆積し連
続運転が出来ない

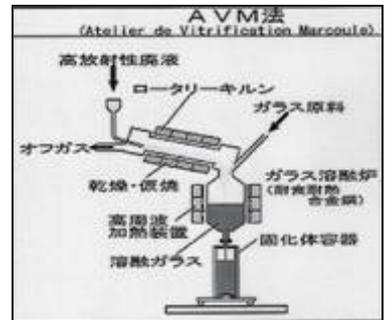
六ヶ所工場のガラス溶
融炉の特徴は、炉内のガ
ラスの電気抵抗を利用し
て電極間に通電し温度を
あげる方式を採用してい
ることです。報告書には
炉底部に白金族元素が堆
積し目詰まりを起すこと
が書かれています。電極
間を電気が白金族元素
を通して短絡通電し、
炉内温度が充分上がら
ず、ガラス溶融が十分
の場合があり、「安定し
た運転を定常的に形成
出来なかった」としてい
ます。

白金族元素の沈殿に
四苦八苦

この白金族元素の沈殿
と目詰まりについては、
当初から予想されており
日本原燃は、炉底部を低
温にし、炉上部を高温に
して、溶融ガラスと廃液
を導入し、充分溶融して
から、炉底部を補助電源
で加熱し、タイミング良
く流下させるという「熟
練運転」を試行しました。
しかし、綱渡りのような
この方式はうまく行かず、
炉底部に白金族が溜まり、
棒などで攪拌する作業を
四回も行っています。一
二月二七日には機械を止
めて、白金族元素を削ぎ
落とす抜き取り作業を開
始し、現在も点検作業が
続いています。

それでも「第四ステップ終
了」と報告

このような実態を見れ
ば、第四ステップは当然
クリア出来なかったと考
えるべきですが、驚いた
ことに、報告書では「第
五ステップ試験開始まで
に処置を終了すべき不適
合事項については、処置
を終了したことを確認し
た上で第五ステップの試
験を開始する」としまし
た。小委員会も条件を付
してこれを認めました。



AVM法【ラ・アーク(仏)
セラフィールド(英)採用】

電子レンジと同じ「高周波誘導加熱」によりガラスを溶融する。白金族元素問題はクリアしたと言われる。

小委員会の条件は、第五
ステップの中で①ガラス
固化体の試験製造を再開
する前に具体的な運転方
法を確認する。②試験製
造を再開した後の状況に
についても再度確認する。
というものです。

低温で製造された不良品
ガラス固化体は大丈夫か

日本原燃は、今回製造
されたガラス固化体は、
廃液三〇立方メートルによる六
〇体であるとしています。
製造立ち上げの一二月四
日〜一二月一日の期間を
「六・五日間の連続運転」
として条件に適用させて
おり、「廃液を一時間あた
り七〇リットル注入運転」は添
付された運転記録のグラ
フによつては読み取れま
せん。むしろ、連続運転
出来たのは、当初の数日
間であり、それ以降は、
ガラス固化最低温度とさ
れる一一〇〇度に達しな
いまま、作業がなされた

STOP!

再処理工場稼働 IN 仙台

◇時三月一六日(日)

◇所 仙台市情報・産業プラザ
多目的ホールアエル5F
(仙台駅西口近く)

◇入場無料 (上映会のみ五〇〇円)

一一時三〇分

「六ヶ所村通信NO4」上映
一二時三〇分

ライブ(匂当台公園)

一三時

基調対談・ビデオレター・
パネルトーク

一六時 ウォーク(市内)

一八時三〇分

◆主催 アコースティックライブ(匂当台公園)
海をさぐる市民五団体(仙台・
石巻・宮古・盛岡・八戸)

◆問い合わせ 三陸・宮城の海を放射能
から守る仙台の会

FAX 〇二二二六八四〇四二
TEL 〇九〇一五四〇二
一九九五二(広瀬)

新聞広告

キャンペーン(続行)

皆様のご協力により岩手日
報一月二七日朝刊に意見広告
を掲載する事が出来ました。
さらに、第二弾「朝日新聞」
(青森・岩手・宮城)、第三弾
として、青森あるいは首都圏
での掲載を考えています。

一口千円(何日でも可)
二次締めきり三月末日

郵便振替口座番号
〇二二〇〇一〇一

加入者名
一〇五七六八

子どもと海と空の会
(代表 澄川嘉彦)